

令和8年第1回定例会(2月議会)

観光文化スポーツ部

産業観光委員会

【議案関係資料】

(補正予算関係)

2月 13 日提出

令和 8 年 第 1 回 定 例 会 (2 月 議 会)
産 業 観 光 委 員 会 ・ 分 科 会
議 案 関 係 提 出 資 料

令和 8 年 2 月 13 日
観 光 文 化 ス ポ ー ツ 部

【補正予算関係】

| | | |
|---------------|--|----|
| 観 光 戦 略 課 | 観 光 人 材 確 保 支 援 事 業 に つ い て | 3 |
| | 観 光 施 設 魅 力 向 上 事 業 に つ い て | 4 |
| 誘 客 推 進 課 | 通 年 誘 客 促 進 事 業 に つ い て | 5 |
| 食のあきた推進課 | 食 品 産 業 の 輸 出 向 け H A C C P 等 対 応 施 設 整 備 緊 急 対 策 事 業 に つ い て | 7 |
| 交 通 政 策 課 | 航 空 会 社 増 便 運 航 支 援 事 業 に つ い て | 8 |
| | 鉄 道 軌 道 輸 送 対 策 事 業 に つ い て | 11 |
| | 公 共 交 通 燃 料 高 騰 等 対 策 事 業 に つ い て | 12 |
| 文 化 振 興 課 | 総 合 生 活 文 化 会 館 物 価 高 騰 対 応 設 備 改 修 事 業 に つ い て | 14 |
| | 総 合 生 活 文 化 会 館 管 理 運 営 費 等 に 係 る 債 務 負 担 行 為 の 設 定 に つ い て | 15 |
| ス ポ ー ツ 振 興 課 | 県 有 体 育 施 設 整 備 ・ 改 修 事 業 に つ い て | 16 |

観光人材確保支援事業について

観光戦略課

1 目的

人材マッチングサービスの利用促進や外国人材受入の先行事例を学ぶ機会を提供し、宿泊業における人手不足の解消を支援する。

2 概要

(1) 多様な人材採用手法導入支援事業

1,950千円

地域外からの働き手や隙間時間を活用した短時間勤務の働き手を確保することにより、宿泊施設の人手不足の緩和を図る。

○ トラベルワーキング活用支援事業費補助金

- ・補助対象：交通費（宿泊事業者負担分）、マッチングサービスの利用に要した経費等
- ・補助額等：1人当たり最大5万円（1事業者当たり最大15万円）
- ・補助件数：10件程度

○ スポットワーク活用支援事業費補助金【新規】

- ・補助対象：マッチングサービスの利用に要した経費
- ・補助額等：1事業者当たり最大3万円
- ・補助件数：10件程度

(2) 多様な人材確保推進事業【新規】

110千円

外国人材の受入に関して、事業者の先行事例を共有するセミナーを開催し、現場の実状に即した円滑な受入環境の整備を促進する。

- ・講師：秋田県外国人材受入サポートセンター

3 予算額

2,060千円

(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

(1) 多様な人材採用手法導入支援事業

1,950千円

内 訳

- ・補助金
- ・旅費、需用費 等

1,800千円

150千円

(2) 多様な人材確保推進事業

110千円

内 訳

- ・旅費、需用費 等

110千円

観光施設魅力向上事業について

観光戦略課

1 目的

県有施設について、物価高騰の影響を受けている指定管理者の負担を軽減し、施設利用者のサービス向上を図るため、経年劣化が進んでいる設備等の省エネルギー化に向けた改修を行う。

2 概要

| 施設名 | 工事名等 | 工事概要等 | 予算額 (千円) |
|------------|--------------------------|---|-------------|
| 秋の宮山荘 | 避難誘導灯LED化更新 | 消費電力を抑制するためのLED化工事(65基) | 6,578 |
| | 館内暖房・給湯用熱交換器更新 | 館内暖房と給湯に関する熱交換効率を高めるための工事(一式) | 79,849 |
| 鳥海観光宿泊センター | 客室冷暖房用ファンコイルユニット更新 | 客室の冷暖房効率を高めるための工事(20室) | 40,250 |
| 秋田県ふるさと村 | 工芸工房エリア冷暖房設備更新 | 工芸工房エリアの冷暖房効率を高めるための工事(4台) | 14,000 |
| | 屋内照明LED化更新 | 消費電力を抑制するためのLED化工事 (本館116基、ドーム劇場170基、ワンダーキャッスル76基、その他施設156基、計518基) | 68,000 |
| 田沢湖スキー場 | スキーセンター「レラ」の暖房用パネルヒーター更新 | スキーセンター「レラ」の暖房効率を高めるための工事 (サイズ:600H・2600L・102D) 16台、(サイズ:600H・1600L・102D) 4台 | 12,100 |
| 合計 | | | 220,777 |

3 予算額

220,777千円

(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

内訳

| | |
|------------|-----------|
| ・委託料(設計業務) | 6,000千円 |
| ・工事請負費 | 214,777千円 |

通年誘客促進事業について【新規】

誘客推進課

1 目的

物価高騰等により厳しい経営環境に置かれている県内宿泊事業者やバス事業者を支援するため、宿泊助成等により通年誘客に向けた旅行需要を喚起する。

2 概要

(1) 秋田県宿泊応援事業【新規】

780,000千円

OTAを活用した宿泊割引クーポン、アドオン・クーポン（※）の発行及びSNS等によるプロモーションを行う。

- ・対象者：県内外・海外の旅行者
- ・割引額：

| | |
|------------------|----------------|
| 1,000円（3,000円） | 宿泊料金 6,000円以上 |
| 3,000円（5,000円） | 宿泊料金 10,000円以上 |
| 5,000円（7,000円） | 宿泊料金 15,000円以上 |
| 10,000円（12,000円） | 宿泊料金 30,000円以上 |
- ・対象期間：第1弾 令和8年5月中旬 ～ 令和8年7月
第2弾 令和8年11月 ～ 令和9年2月
- ・委託先：企画提案競技等により選定

※ 宿泊以外の観光消費を促すため、通常の宿泊プランに体験や食・地酒、お土産を組み合わせた宿泊パック商品について、割引額を上乗せするクーポン（左記の割引額の括弧内の金額）。



+



「宿泊」と「地酒」とのセット商品



+



「宿泊」と「スキーリフト」とのセット商品

(2) 通年誘客に向けた観光バス利用促進事業

36,740千円

団体旅行による貸切バス利用を促進するため、県内バス事業者へ助成する。

- ・補助対象：旅行商品のうち県内貸切バス料金
- ・補助率：定額（バス1日1台当たり上限5万円）
- ・対象期間：第1弾 令和8年5月中旬 ～ 令和8年7月
第2弾 令和8年11月 ～ 令和9年2月
- ・補助先：(公社)秋田県バス協会（予定）
- ・助成台数：700台（想定）



令和7年度周知チラシ

3 予算額

816,740千円

(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

(1) 秋田県宿泊応援事業

780,000千円

内 訳

・委託料 780,000千円

委託料の内訳

| | |
|-----------|-----------|
| ・割引原資 | 650,000千円 |
| ・事務局設置費 | 10,000千円 |
| ・広告宣伝費 | 100,000千円 |
| ・事業者募集・支援 | 10,000千円 |
| ・特設サイト開設費 | 10,000千円 |

(2) 通年誘客に向けた観光バス利用促進事業

36,740千円

(負担金補助及び交付金)

食品産業の輸出向け HACCP 等対応施設整備緊急対策事業について

食のあきた推進課

1 目的

輸出先国等の規制や条件（HACCP・ISO22000※等）に対応した施設の新設及び改修、機器の整備を支援することで、県産加工食品の輸出拡大を促進する。

2 概要

国際的な食品衛生認証 ISO22000 に対応した工場への建替、生産ラインの自動化等による生産ロス削減や省力化による生産性の向上、ISO22000 認証の取得等に必要な経費を補助する。

- ・補助先：(株) 稲庭うどん小川
- ・補助率：1 / 2 (国10 / 10)
- ・総事業費：6 億円

3 予算額

| | | |
|-----|-------------|-------------|
| | | 300,147千円 |
| | [国庫支出金 | 300,147千円] |
| 内 訳 | ・旅 費 | 47千円 |
| | ・需用費 | 60千円 |
| | ・役務費 | 20千円 |
| | ・使用料及び賃借料 | 20千円 |
| | ・負担金補助及び交付金 | 300,000千円 |

(参考)活用事例【農林水産省 HP を引用】

工場の新設・改修



機器導入・ライン改修



※ ISO22000 (International Organization for Standardization) :

食品安全マネジメントシステムに関する国際規格。HACCP の食品安全管理手法をもとに、食品安全を損なうリスクを低減し、フードサプライチェーン全体で食品安全を実現するためのマネジメントシステム。

航空会社増便運航支援事業について (大館能代空港三往復運航定着支援事業)

交通政策課

1 目的

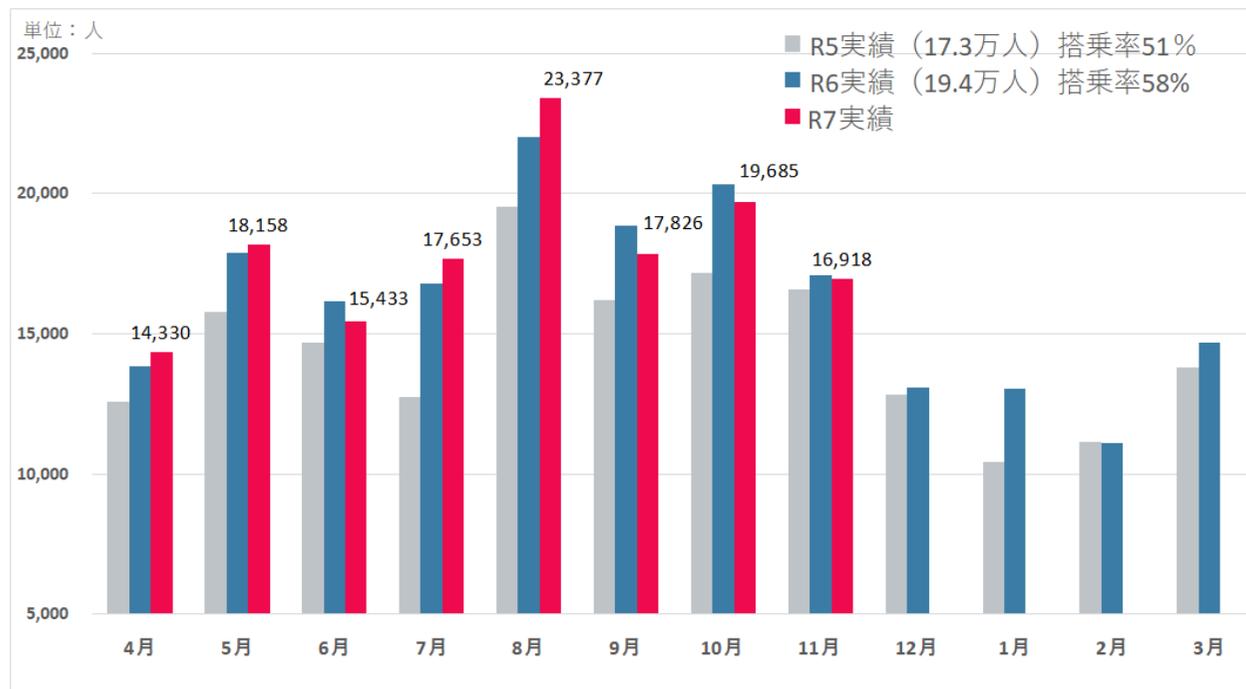
大館能代空港の三往復運航を県と航空会社が連携して支え、安定的・継続的な運航につなげるため、「大館能代空港東京羽田路線の運航に係る覚書」に基づき、搭乗実績に応じて運航経費の一部を支援する。

2 概要

対象期間内の旅客者数が、着陸料を減免してもなお航空会社が想定する採算ライン（210,794人）に達しない場合に生じる欠損額について、一定の範囲内で航空会社と折半し負担する。

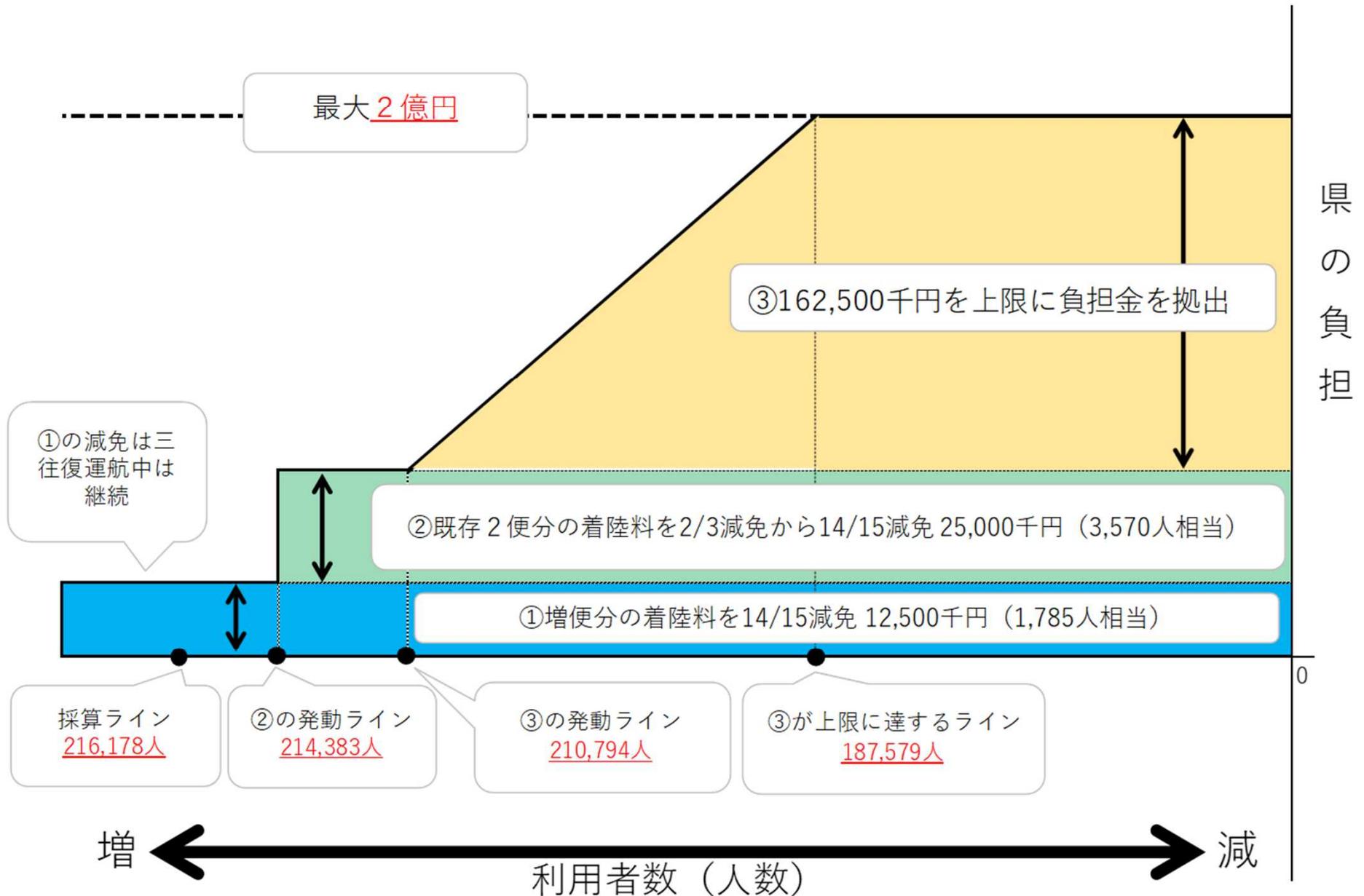
- ・対象事業者：全日本空輸(株)
- ・対象期間：令和7年3月30日から令和8年3月31日まで
- ・負担額：114,254千円
令和7年度の搭乗者数を194,472人（12月以降の旅客者数が過去2か年の平均）と仮定し、採算ラインとの差分から算定

3 予算額 114,254千円 (負担金補助及び交付金)



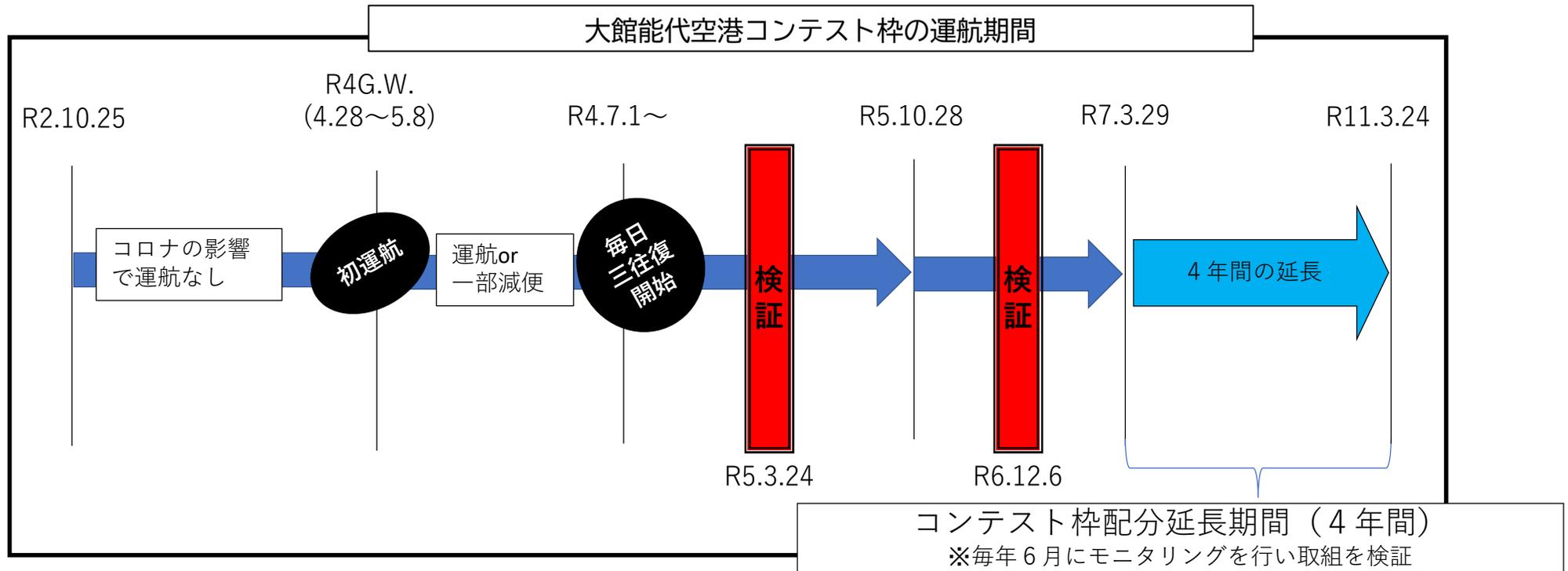
【参考】令和7年度 大館能代空港3往復運航 県の負担イメージ図

※ 3往復運航で発生した欠損は、原則、県と航空会社で折半する。



【参考】羽田発着枠政策コンテストにより配分を受けた発着枠の運航期間について

- 令和2年3月に実施されたコンテストに、大館能代空港利用促進協議会・ANA・県の3者で共同提案を実施。
- 令和2年5月14日に結果が公表され、大館能代空港の増便が決定した。
- コンテスト枠の配分期間は、令和2年10月25日～令和5年10月28日。
- 発着枠の配分を受けた3便目は、コロナの影響により長期間運航できず、令和4年4月28日に初運航、令和4年7月から毎日の運航が開始されている。
- 国が令和5年3月24日に検証を実施。令和5年4月21日に国から検証結果が公表され、発着枠の配分期間が令和7年3月29日まで、1年半延長となった。
- 令和7年3月以降の発着枠の取り扱いについては令和6年12月6日に検証を実施し、令和7年1月に開催された懇談会で令和11年3月24日までの配分延長が決定された。



鉄道軌道輸送対策事業について
(第三セクター鉄道事業再構築推進事業)

交通政策課

1 目的

第三セクター鉄道の安全運行を確保するため、鉄道事業再構築実施計画に基づき鉄道事業者が実施する施設整備に対して国と協調して補助する。

2 概要

(1) 秋田内陸縦貫鉄道(株)

100,000千円

- ・整備内容：踏切保安設備更新、トンネル改修等
- ・負担割合：国1/2、県1/2

(2) 由利高原鉄道(株)

22,900千円

- ・整備内容：踏切改良、自動列車停止装置(ATIS)更新等
- ・負担割合：国1/2、県1/2

3 予算額

122,900千円
(負担金補助及び交付金)



踏切保安設備の老朽化
(秋田内陸線)



トンネル上部のコンクリート剥がれ
(秋田内陸線)



踏切敷板の変形
(鳥海山ろく線)

1 目的

物価高騰の影響を受けている乗合バス・乗合タクシー・三セク鉄道事業者による経営基盤強化に向けた取組を支援し、持続可能で安定的な運行の確保を図る。

2 概要

(1) 三セク鉄道省エネ・安全運行確保緊急支援事業 470,000千円

物価高騰により経営に影響を受けている第三セクター鉄道について、持続可能で安定的な運行を維持するため、省エネ化に資する軌道整備及び事前防災対策（伐木、沿線樹木点検）に要する経費を補助する。

- ・補助対象経費：秋田内陸縦貫鉄道（株） 136,000千円
 - 伐木費 60,000千円
 - 沿線樹木点検費 76,000千円
- 由利高原鉄道（株） 334,000千円
 - 軌道整備（枕木交換） 300,000千円
 - 伐木費 7,000千円
 - 沿線樹木点検費 27,000千円

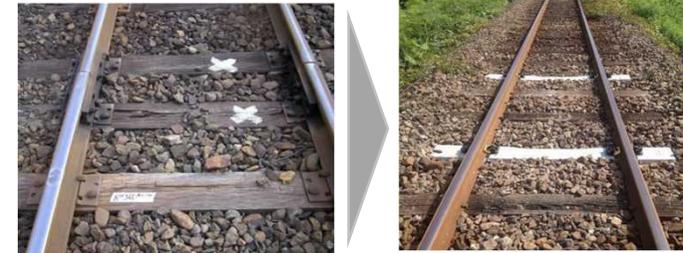
・補助率：10/10

(2) 三セク鉄道誘客促進事業 2,400千円

鉄道事業者が行う海外エージェントへのセールス活動（訪問営業、商談）に係る海外渡航費（航空費、宿泊費）に対し補助する。

- ・補助対象経費：秋田内陸縦貫鉄道（株） 1,200千円
- 由利高原鉄道（株） 1,200千円
 - ①台湾 300千円×1名
 - ②韓国 250千円×1名
 - ③タイ 350千円×1名
 - ④香港 300千円×1名
 - 計 1,200千円

・補助率：10/10



枕木交換
(木製からコンクリート製へ)



積雪による倒木の様子



沿線樹木点検
(航空レーザー計測等)



タイ商談会
(秋田内陸線)



インバウンド客
(鳥海山ろく線)

(3) 地域公共交通人材確保・運行効率化支援事業 102,200千円

①地域公共交通人材確保支援事業 51,000千円

(ア)採用育成活動推進事業

求人サイトへの掲載や第二種免取得費用など、人材確保に向けた取組に要する経費を支援

(イ)労働環境改善対策事業

労働環境の改善や省人化のための設備等の導入に要する経費を支援

・補助対象：地域間幹線系統、コミュニティ交通又は第三セクター鉄道を運行する事業者

・補助率：1/2（ただし、第三セクター鉄道事業者については10/10）

・補助限度額：地域間幹線系統を運行する事業者又は第三セクター鉄道事業者 5,000千円

（(ア)(イ)合算） コミュニティ交通を運行する事業者 1,500千円

②地域公共交通運行効率化・利便性向上支援事業 51,000千円

(ア)燃費の向上に資する乗合バス車両の導入の支援

(イ)公共交通の運行効率化又は利用者の利便性向上に資する設備の導入・改修の支援

・補助対象：県内の路線バスを運行する事業者

・補助率：1/2

・補助限度額：(ア) 1台当たり：7,500千円 (イ) 1事業者当たり：2,000千円

③事務費 200千円

3 予算額 574,600千円

(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

内 訳

| | |
|--------------|-----------|
| ・ 需用費 | 200千円 |
| ・ 負担金補助及び交付金 | 574,400千円 |

総合生活文化会館物価高騰対応設備改修事業について【新規】
(総合生活文化会館リニューアル事業)

文化振興課

1 目的

物価高騰の影響を受けている総合生活文化会館において、省エネ化に向けた音楽ホール客席側照明のLED化工事等を実施する。

2 概要

(1) 客席側照明省エネルギー化(LED)改修

- ・ホール内の客席側照明をハロゲン灯からLEDに改修する。

(2) 天井開閉・残響可変装置改修

- ・舞台天井開閉装置及び客席側面・後壁残響可変装置の改修を行う。

(3) 空調設備・防犯防災カメラ設備更新

- ・音楽ホールの一部の空調設備の更新と、防犯防災用の監視カメラ設備の更新を行う。

3 予算額

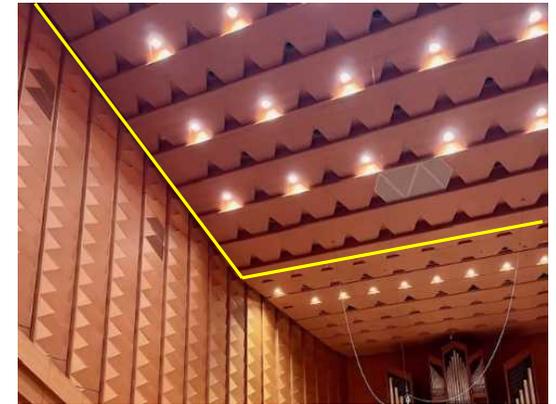
131,280千円

(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

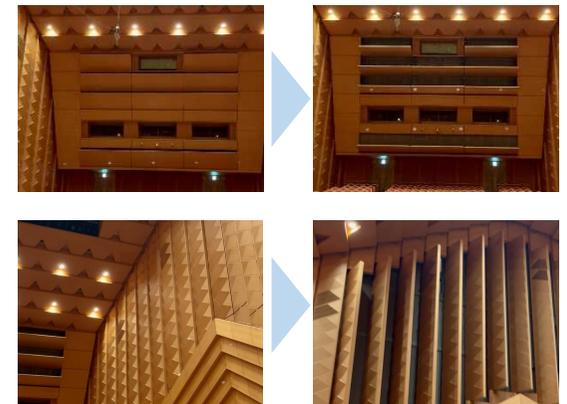
(委託料)

| | | |
|--------|---------|----------|
| 委託料の内訳 | ・ 2 (1) | 68,783千円 |
| | ・ 2 (2) | 48,435千円 |
| | ・ 2 (3) | 7,810千円 |
| | ・ 業務管理費 | 6,252千円 |

参考① 客席側照明



参考② 残響可変装置



*通常は閉じているが(左)、稼働させることで響きを抑える効果がある(右)

総合生活文化会館管理運営費等に係る債務負担行為の設定について

文化振興課

1 目的

総合生活文化会館の管理運営等について、今年度内に契約手続を進める必要があることから、債務負担行為を設定する。

2 概要

県、秋田市及び日本生命保険相互会社の3者が区分所有しており、県の持分に係る維持管理、設備修繕等に要する経費を計上する。

3 債務負担行為の設定

(1) 総合生活文化会館管理運営費

- ・限度額：185,883千円
- ・設定期間：令和8年度

【内訳】

| 区分 | 内容 | 金額(千円) |
|-----|--------------------------|---------|
| 共用部 | 設備保守点検費、光熱水費、イベント広場賃貸借料等 | 162,691 |
| 専用部 | 清掃費、設備保守点検費等 | 23,192 |
| 合計 | | 185,883 |

(2) 総合生活文化会館リニューアル事業

- ・限度額：100,055千円
- ・設定期間：令和8年度

| 区分 | 内容 | 金額(千円) |
|---------------------------|--------------------------|---------|
| 総合生活文化会館リニューアル事業(経年劣化対策等) | | 39,682 |
| 共用部 | 電気・空調設備修繕、貯湯槽整備、消火器更新等 | 25,199 |
| 専用部 | 電気・空調設備、音楽ホール舞台機構設備修繕等 | 14,483 |
| 総合生活文化会館長寿命化事業 | | 60,373 |
| 共用部 | 外壁タイル改修、電灯分電盤設備、揚水ポンプ更新等 | 50,608 |
| 専用部 | 美術展示ホール調光装置、動力制御盤設備更新等 | 9,765 |
| 合計 | | 100,055 |

県有体育施設整備・改修事業（省エネルギー化改修）について

スポーツ振興課

1 目的

県有体育施設について、物価高騰の影響を受けている指定管理者の負担を軽減し、施設利用者のサービス向上を図るため、経年劣化が進んでいる設備等の省エネルギー化に向けた改修を行う。

2 概要

| | |
|-----------------------|-----------|
| (1) 県立野球場 | 107,749千円 |
| ・ロッカールームや医務室等の空調設備の更新 | |
| (2) 県立向浜運動広場 | 367,821千円 |
| ・四面野球広場の屋外照明設備のLED化改修 | |
| (3) 県立新屋運動広場 | 289,068千円 |
| ・屋外照明設備のLED化改修 | |
| (4) 県立田沢湖スポーツセンター | 63,540千円 |
| ・宿泊室への個別空調設備の設置 | |
| (5) 大館地区多目的ドーム | 151,730千円 |
| ・LEDスコアボード設備の更新 | |
| (6) 能代山本スポーツリゾートセンター | 129,004千円 |
| ・アリーナ内照明のLED化改修 | |
| ・宿泊棟空調設備の更新 | |

3 予算額 1,108,912千円

(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

| | | | |
|-----|---|------------------|-------------|
| 内 訳 | 〔 | ・委託料（実施設計、設計監理費） | 6,446千円 |
| | | ・工事請負費 | 1,102,466千円 |
| | 〕 | | |



空調設備室外機（野球場）



屋外照明（向浜運動広場）



空調設備室外機（能代）